
あと5分

春野桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あと5分

【Nコード】

N4402A

【作者名】

春野桜

【あらすじ】

「あと5分」俺はこの台詞が好きだ。だってそう言えば君はまだいてくれるから――。恋人の朝のひと時を描いたショートストーリー！。

「あと5分……」

この台詞を言う瞬間が、俺はたまらなく好きだったりするんだ。

チュンチュン、とまるでドラマのように雀が鳴く朝の中、まだ寝ている俺を晴香が揺さぶった。

「よーちゃん、早く起きてよー!」

晴香の奴め……ちゃんと洋介って本名で呼んでくれと何回言ってもだめだな。

「ん……あと5分……」

お決まりの台詞を言うと、晴香のきつい一言が飛んできた。

「いつもそう言って30分は寝てるでしょ!ほら起きて!」

そしてさらに俺を揺さぶる。

さすが昔からの長い付き合い、よくわかってらっしゃる。

「んーじゃああと30分……」

「バカ!早くしないと学校遅刻するよ?」

そう言われたのでちらりと時計を見る。

——ん?7時?

……なんだ、まだ余裕じゃねーか。

晴香のやつ、さては俺がなかなか起きないこと考えて早めに起こしてやがるな。

それなら仕返ししてやる!

俺はまだ揺さぶってくる晴香の腕を掴んだ。

「きゃ!?!」

そのまま晴香を引っ張り、ベッドの中に誘い込む。

晴香の長い髪から匂う甘い香りが、俺の鼻をくすぐった。

「晴香も一緒に寝よーぜ」

「ちょ……よーちゃんっ」

晴香は慌てて身じろぐが、俺がしっかりと抱きしめているからついに諦めた。

大人しくなつた晴香は、仕方なさそうに呟いた。

「もう……よーちゃんのバカ」

「バカバカ言い過ぎ」

「だってバカじゃん、こんな……」

一呼吸ついて、晴香は言う。

「お母さんたちに見られたらどーすんのよ」

「……殴られるな」

階下にいる両親を思い少しだけ罪悪感を覚える。

ちくしょー、親父が悪いんだからな！

よりによつて晴香の母親と再婚なんてしなくてもいいじゃねーか！
おかげで隠れて付き合わなくちゃならねーなんて……ついてねーよ。
元々はただの、幼なじみだったのにな。

「早く親父たちに言いてーな」

「だーめ、高校卒業してからって言ってるでしょ」

口を尖らす晴香。めっちゃ可愛い！

でもね晴香ちゃん、卒業まであと二年あるんだけど……。

「ほらよーちゃん、早く起きよ」

「ん……」

大好きな晴香。

今は妹になつちまって近所の目もあるし、表で堂々と手さえ繋げない状況だ。

だから朝のこんな時間はすげー大切で。
少しでもその時間を増やしたいから。
だから俺は今日もこう言うんだ。

「あと5分」

……てね。

《END》

（後書き）

読んで下さりありがとうございます。30分ほど描いた小説ですが、ずっと描きたいな、と思っていた内容なので楽しかったです（＾－＾）ラブラブ甘いですね（苦笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4402a/>

あと5分

2010年10月15日15時42分発行